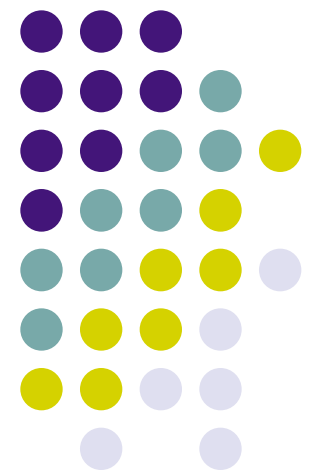
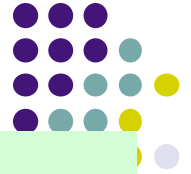


方言調査 5

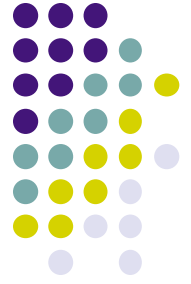
サンフランシスコ州立大学／国立国語研究所
南 雅彦





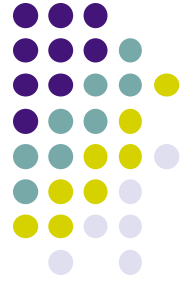
博士語は部分的にはあるが、
現代西日本方言の文法の特徴を持っている。
博士語をしゃべらない博士がいる。では、博士語は老人語か？

	博士語	標準語	西日本方言	東日本方言
断定	雨じゃ	雨だ	雨じゃ、雨や	雨だ
打ち消し	知らん 知らぬ	知らない	知らん 知らへん	知らない 知らねえ
人間の存在	おる	いる	おる	いる
進行	降っておる 降っとる	降っている 降ってる	降っておる 降っとる	降っている 降ってる
状態	知っておる 知っとる	知っている 知ってる	知っておる 知っとる	知っている 知ってる



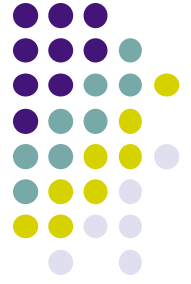
関西と東京の語彙の相似

- 新しい都市、江戸が徳川家康によって建設され、上方から多くの者が移住し、それとともに上方文化が流れ込んだ結果であると推測される。
 - たとえば、徳川家康は摂津国佃村（現在の大阪市）から漁師を呼び寄せ、隅田川河口の干潟に住まわせた。そこを埋め立ててできたのが佃島であり、その漁師たちが作ったのが佃煮。
 - 言葉の用法としては、丁寧体の「家に居ります」の「**オル**」という表現は上方の言葉が東京に入り標準語の地位を得たものである（佐藤 1979）。



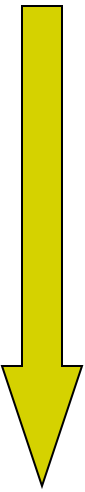
関西と東京の語彙の相似

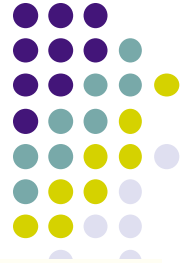
- 東京は、江戸時代に関西との交流により関西の影響を深めた。
 - 東西文化の交流が盛んだった江戸（東京）においては「**シ**アサッテ」が「**ヤノ**アサッテ」を隣接位置に押し出すという現象が生じた。
 - 交易だけではなく、関西から多くの人に移り住んだ。
 - 江戸だけが語彙において飛び地のような状況になった（例：**オル**、**カライ**）。
 - 博士語は、そうした体制側の言葉の名残。



方言調査：地域的なバリエーション

● 「イエ」か「ウチ」か？

- 
- ()の格式を重んじる。
 - ()を建てる。
 - 不親切な()だ。
 - ()の父は声大きい。
 - あそこは子どもの多い()だ。
 - 抽象的な観念をさすときは「**ウチ**」より「**イエ**」がふさわしい。
 - 「**イエ**」が「**ウチ**」よりも古い。
 - 上代「**ヤ**」〔建物自体・家主、屋根〕
「**イエ**」〔家庭、家族、家柄〕
 - 外に対する内(「**ウチ**」)が家族・家庭を指すようになる。



方言調査：地域的なバリエーション

●「イエ」か「ウチ」か？

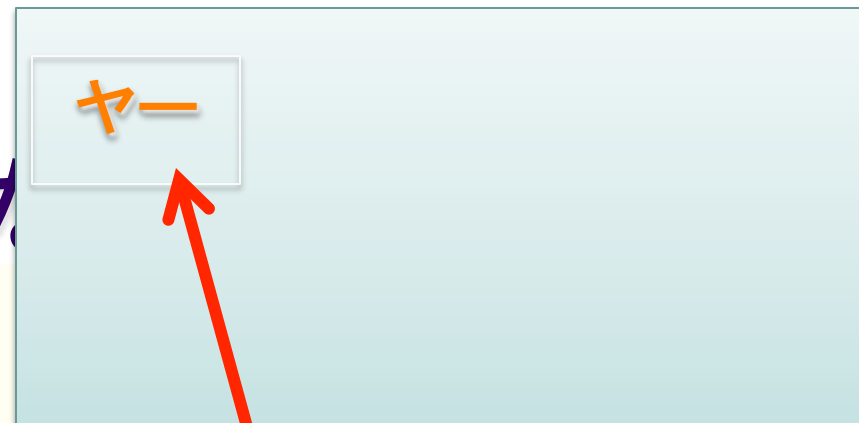
西日本では家屋についての格式について「**イエ**」、家族を建てまたは家庭の意味では「**ウチ**」という傾向が強く、両者を区別せず「**ウチ**」と呼ぶ関東・中部や、両者とも「**イエ**」と呼ぶ傾向の強い東北などと対立する。



方言調査：地域的な

●「イエ」か「ウチ」か？

西日本では家屋にの格式について「**イエ**」、家族を建てまたは家庭の意味では「**ウチ**」という傾向が強く、両者を区別せず「**ウチ**」と呼ぶ関東・中部や、両者とも「**イエ**」と呼ぶ傾向の強い東北などと対立する。



イエ

ウチ

上代

ヤー



方言調査：地域的な

●「イエ」か「ウチ」か？

西日本では家屋にの格式について「**イエ**」、家族を建てまたは家庭の意味では「**ウチ**」という傾向が強く、両者を区別せず「**ウチ**」と呼ぶ関東・中部や、両者とも「**イエ**」と呼ぶ傾向の強い東北などと対立する。

イエ

ヤー

イエ

ウチ

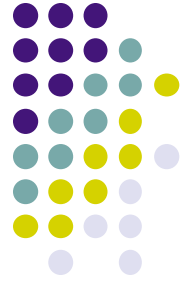
ヤー

方言調査：地域的な

●「イエ」か「ウチ」か？

西日本では家屋にの格式について「**イエ**」、家族を建てまたは家庭の意味では「**ウチ**」という傾向が強く、両者を区別せず「**ウチ**」と呼ぶ関東・中部や、両者とも「**イエ**」と呼ぶ傾向の強い東北などと対立する。





方言調査：地域的なバリエーション

- 「なぞなぞ」式 (佐藤 1979; 真田・岸江・中井・鳥谷 2009)
 - 「獣や鳥については、オス・メスという区別があります。でも、このことばは人間には使いません。人間についてはそれぞれ何と言いますか。」(語彙)
 - 「暑いと、額や顔から流れるものです。何と言いますか。」(語彙)
 - 「大きな犬が何匹もほえかかって、今にもかみつきそうになる。そんなときの感じをどんなだと言いますか。」(語彙・形容詞)
 - 「『仕方がない』というとき、何と言いますか。」(語彙・形容詞)
 - 「物を食べておいしくないとき、何と言いますか。」(語彙・形容詞)

方言調査：地域的なバリエーション



- 「なぞなぞ」式 (佐藤 1979; 真田・岸江・中井・鳥谷 2009)
 - 「たいへん親しい仲間と話をするとき、『自分をさす言葉』は何と言いますか。」(自称詞・インフォーマル)
 - 「結婚式で挨拶するとき、改まった折りに『自分をさす言葉』は何と言いますか。」(自称詞・フォーマル)
 - 「普段、大変親しい仲間と話をするとき『相手をさす言葉』は何ですか。」(対称詞・インフォーマル)
 - 「改まった折りなど丁寧に言うとき、『相手をさす言葉』は何ですか。」(対称詞・フォーマル)

方言調査：地域的なバリエーション



- **翻訳式** (徳川・真田 1991)
 - 「『今日、仕事に行くか』と家の人から聞かれて、『行かないよ』と答える場合、『行かない』のところをどう言いますか。』」(**否定**)
 - 「『今日、仕事に行くことができるか』と聞かれて、『行くことができないよ』と答える場合、『行くことができない』の部分はどう言いますか。』」(**否定・可能**)
 - 「『昨日は、仕事に行ったか』と家の人から聞かれて、『行かなかったよ』と言うとき、『行かなかった』の部分はどう言いますか。』」(**否定・過去**)



方言調査：地域的なバリエーション

- **翻訳式**（徳川・真田 1991）
 - 「『あの人はここには来ない』と言う場合、『来ない』の部分をどう言いますか。」（**否定**）
 - 「『今日はもう仕事をしない』と言うとき、『しない』のところをどう言いますか。」（**否定**）
 - 「『今日はテレビは見ない』と言うとき、『見ない』の部分をどう言いますか。」（**否定**）
 - 「『あした、6時に起きることができるか』と聞かれて、『起きることができるよ』と言うとき、『起きることができる』の部分をどう言いますか。」（**可能**）

示された標準語形に引かれて、日常生活で用いている固有の方言形を答えない場合が考えられる。